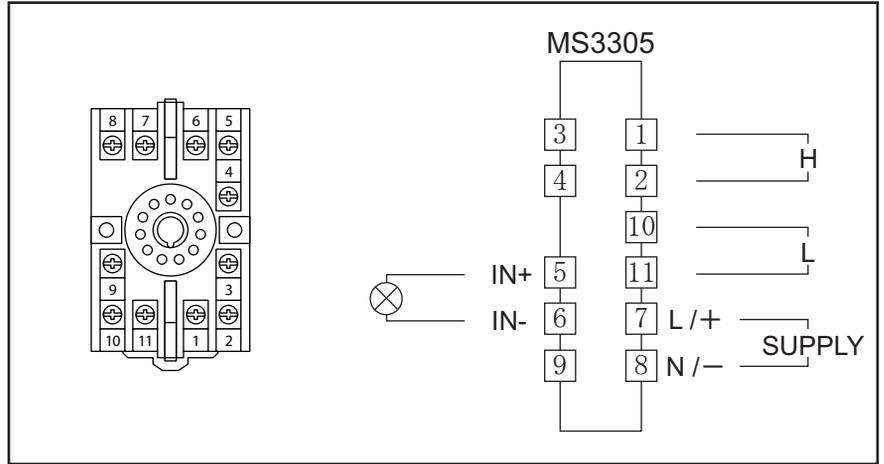


接続の方法

MS3305に対する入力、接点出力、駆動電源の接続は、すべてソケットのネジ端子に対しておこないます。右図にソケットの端子配列を示します。



出力動作、出力動作点の設定方法

◆予めご注文時に指定頂いた仕様に設定されておりますので、あらためて設定を行う必要はありません。

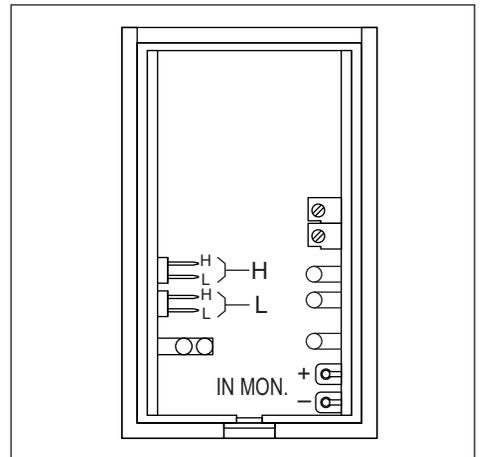
▶出力動作の設定

基盤上のジャンパピンにより各出力別々に設定することができます。各々の出力に対し、下図の4通りの出力モードが設定できます。但し、電源断時 (ON, OFF) は予めご注文頂いた設定から変更する事はできません。

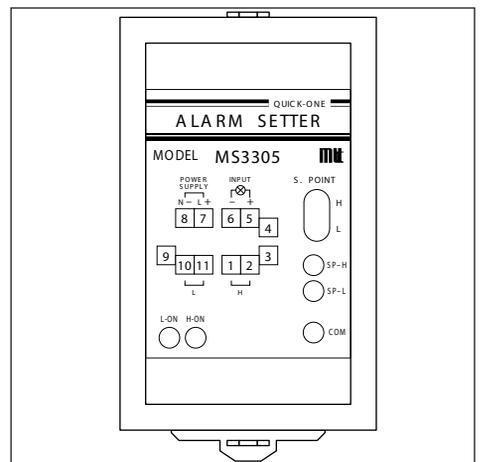
※ご注意：ジャンパピンの設定については、必ず電源を切ってから行ってください。

出力動作コード	ジャンパ設定	通電時		電源断時
		入力<設定	入力>設定	
OHまたはOL	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> H/EXCITE	OFF	ON	OFF
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> L/EXCITE			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> H/EXCITE	ON	OFF	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> L/EXCITE			
CHまたはCL	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> H/EXCITE	ON	OFF	ON
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> L/EXCITE			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> H/EXCITE	OFF	ON	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> L/EXCITE			

ジャンパピン配置 (変換器前面扉内)



MS3305 (前面パネル)



▶出力動作点の設定 (電圧入力の場合)

- MS3305本体に電源を投入し、最低30分間のウォーミング・アップを行ってください。このウォーミング・アップが不十分ですと、正確な設定ができません。
- MS3305本体前面右にあるH・トリマ (右側にHと印字してある方) をゆっくりと回転させ入力信号の0~100%の範囲で調整して下さい。この時、本体右下にあるSP-H - COMの端子に電圧計を接続して入力信号の範囲内で設定されている事を確認してください。
- 上記②の様に、MS3305本体前面右にあるLトリマ (右側にLと印字してある方) についても調整して下さい。この時、本体右下にあるSP-L - COMの端子に電圧計を接続して入力信号の範囲内で設定されていることを確認して下さい。

※ご注意：電流入力の場合においても [SP-H, SP-L] - COM端子には電圧信号が出力されます。